

二色の浜のアマモ場の生物調査（2019－2020 年）

山田浩二（貝塚市立自然遊学館）・和田太一（NPO 法人南港ウェットランドグループ）

はじめに

貝塚市にある二色の浜の浅海域では2005年からアマモ *Zostera marina* の自生が確認され(山田、2006)、現在に至るまでアマモ場が形成されている。このアマモ場をよりどころとして生息する生物の定性的な調査は2014年から継続して行い、生物相の記録を行ってきた(山田・和田、2022 ほか)。本稿では2019年、2020年に行ったアマモ場付近の定性的な生物調査の結果を報告する。

調査方法

アマモ場および離岸堤において、2019年5月6日、10月26日、2020年5月23日、いずれも大潮前後の昼間の干潮時に生物の定性調査を行った(図1)。基本的に2人でタモ網を用いて、アマモの群生している箇所での水中すくい取りや、アマモの葉上や茎に着いた生物を採集した。また、離岸堤ではブロック基質に付着している生物や隙間に隠れている生物を素手やタモ網で採集した。これらの調査によって採集した生物の一部は、70%エタノール液浸標本として自然遊学館に保存した。



図1. 二色の浜のアマモ場
(2019年5月6日)

結果と考察

本調査地での3回の調査結果を合わせると、海綿動物門普通海綿綱1種、軟体動物門20種(多板綱1種、腹足綱14種、二枚貝綱4種、頭足綱1種)、環形動物門多毛綱1種、節足動物門18種(顎脚綱1種、軟甲綱17種)、箴虫動物門ホウキムシ綱1種、棘皮動物門2種(ヒトデ綱1種、クモヒトデ綱1種)、脊索動物門硬骨魚綱9種の計7門12綱26目45科52種が記録された(表1)。なお、ウミナメクジは卵囊のみの確認であったが種数に含めた。

ウミウシ類にあたるキセワタガイ科のアカキセワタ(図2)は、二色の浜で初記録になった。体は円筒形に近く、体長は1 cm弱、体色は赤橙色である。また、イロウミウシ科のシロウミウシ(図3)、オオミノウミウシ科のカスミミノウミウシ



図2. アカキセワタ



図3. シロウミウシ

(図 4) は本調査では初記録となるが、これまで二色の浜では記録されている(山田、2009)。大阪府レッドリスト 2014 で絶滅危惧Ⅱ類と評価されている頭足綱コウイカ目のヒメイカは 2 回の調査で記録された。



図 4. カスミノウミウシ

タナイス目のノルマンタナイスはアマモや海藻類の葉上に棲管を作って生息しており、過去の標本および写真を見直すことにより、2016 年 5 月 7 日の二色の浜のアマモ場の生物調査でも採集されていたことが判明した(図 5)。本調査では三浦(2008)を参照してノルマンタナイスと同定したが、角井ほか(2014)ではノルマンタナイスを含めた日本産のナミタナイス属(*Zeuxo*)は分類学的な問題があるともされており、今後分類が変更される可能性がある。



図 5. ノルマンタナイス

3 回の調査ともに記録された種はユビナガホンヤドカリ、クサフグの 2 種のみであった。本調査はあくまで定性的な調査であり、調査日ごとの種数の比較はあまり意味をなさないが、10 月 26 日の記録が 9 種と極めて少なかったことが影響している。これは当日、来訪者へのアマモ場の説明をすることとなり、調査がより簡易なものになったためである。

今後もどのような種が出現してくるかをモニタリングすることにより、二色の浜のアマモ場での生物相の把握に努め、生物多様性の保全に向けての基礎資料としたい。

謝辞

アマモ場の生きもの調査にご協力頂いた平井 研氏に謝意を表します。

引用文献

- 角井敬知・富岡森理・山崎博史(2014) 利尻島のタナイス類(甲殻亜門: フクロエビ上目). 利尻研究(33): 7-12.
- 三浦知之(2008) 干潟の生き物図鑑. 南方新社, 鹿児島.
- 大阪府(2014) 「大阪府レッドリスト 2014」、48pp.
- 山田浩二(2006) リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ. 自然遊学館だより, No. 40 : 8.
- 山田浩二(2009) 二色の浜のウミウシ. 自然遊学館だより, No. 50 : 13-17.
- 山田浩二・和田太一(2017) 二色の浜のアマモ場の生物調査(2014 年). 貝塚の自然 第 18 号 : 35-38.
- 山田浩二・和田太一(2018) 二色の浜のアマモ場の生物調査(2015 年). 貝塚の自然 第 19 号 : 35-38.
- 山田浩二・和田太一(2022) 二色の浜のアマモ場の生物調査(2016・2018 年). 貝塚の自然 第 22 号 : 39-43.

表 1. 二色の浜のアマモ場・離岸堤で記録された種 (2019・2020 年)

門	綱	目	科	種	学名	2019年		2020年
						5月6日	10月26日	5月23日
海綿動物門	普通海綿綱	磯海綿目	イソカイメン科	クロイソカイメン	<i>Halichondria okadai</i>	○		○
軟体動物門	多板綱	新ヒザラガイ目	ウスヒザラガイ科	ヤスリヒザラガイ	<i>Lepidozona coreanica</i>	○		○
	腹足綱	古腹足目	ニシキウズガイ科	チグサガイ	<i>Cantharidus japonicus</i>	○		○
				コシダカガンガラ	<i>Omphalius rusticus</i>	○		○
			サザエ科	スガイ	<i>Lunella coreensis</i>	○		○
		新生腹足目	ウキツボ科	シマハマツボ	<i>Alaba picta</i>	○		○
			ムカデガイ科	オオヘビガイ	<i>Thylacodes adamsii</i>	○		○
			アッキガイ科	イボニシ	<i>Reishia clavigera</i>	○		○
			ムシロガイ科	アラムシロ	<i>Reticunassa festiva</i>		○	
		頭楯目	ブドウガイ科	ブドウガイ	<i>Haloa japonica</i>			○
			キセワタガイ科	アカキセワタ	<i>Philine rubrata</i>			○
		アメフラシ目	アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>	○		
				ウミナメクジ	<i>Petalifera punctulata</i>		卵のう	
		嚢舌目	イロウミウシ科	シロウミウシ	<i>Chromodoris orientalis</i>			○
		裸鰓目	オオミノウミウシ科	カスミノウミウシ	<i>Cerberilla asamusiensis</i>			○
		汎有肺目	カラマツガイ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>	○		○
	二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	カリガネエガイ	<i>Barbatia (Savignyarca) virescens</i>	○		
		イガイ目	イガイ科	ホトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>		○	
		ミノガイ目	ミノガイ科	フクレユキミノ	<i>Limaria hakodatensis</i>			○
		マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>		○	
	頭足綱	コウイカ目	ヒメイカ科	ヒメイカ	<i>Idiosepius paradoxus</i>	○		○
環形動物門	多毛綱	ケヤリムシ目	カンザシゴカイ科	ヤッコカンザシゴカイ	<i>Pomatoleios kraussii</i>	○		○
節足動物門	顎脚綱	無柄目	クロフジツボ科	クロフジツボ	<i>Tetracilia japonica</i>	○		○
	軟甲綱	端脚目	ワレカラ科	ワレカラ科の一種	<i>Caprellidae</i> gen.sp.	○		○
			ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ科の一種	<i>Ampithoidae</i> gen..sp.	○		○
			アゴナガヨコエビ科	アゴナガヨコエビ属の一種	<i>Pontogeneia</i> sp.	○		○
			ユンボソコエビ科	ニホンドロソコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>		○	
		タナイス目	タナイス科	ノルマンタナイス	<i>Zeuxo cf. normani</i>	○		
		十脚目	テッポウエビ科	テッポウエビ	<i>Alpheus brevicristatus</i>		○	
			モエビ科	コシマガリモエビ	<i>Heptacarpus geniculatus</i>	○		○
				ホソモエビ	<i>Latreutes acicularis</i>			○
			ヤドカリ科	イザナミソノヤドカリ	<i>Diogenes izanamae</i>			○
			ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>	○	○	○
				ホンヤドカリ	<i>Pagurus filholi</i>	○		○
				ケアシホンヤドカリ	<i>Pagurus lanuginosus</i>	○		○
			カニダマン科	コブカニダマン	<i>Pachycheles stevensii</i>			○
			コブシガニ科	カネココブシ	<i>Philyra kanekoi</i>		○	
			オウギガニ科	スベスベオウギガニ	<i>Sphaerozium nitidas</i>			○
			モクスガニ科	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>	○		○
			ベンケイガニ科	ヒメベンケイガニ	<i>Nanosesarma minutum</i>	○		○
蓼虫動物門	ホウキムシ綱	ホウキムシ目	ホウキムシ科	ヒメホウキムシ	<i>Phoronis iijimai</i>	○		
棘皮動物門	ヒトデ綱	アカヒトデ目	イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ	<i>Patiria pectinifera</i>	○		○
	クモヒトデ綱	クモヒトデ目	トゲクモヒトデ科	ナガトゲクモヒトデ	<i>Ophiothrix (Ophiothrix) exigua</i>	○		
脊索動物門	硬骨魚綱	トゲウオ目	ヨウジウオ科	オクヨウジ	<i>Urocampus nanus</i>	○		
				ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegeli</i>	○		
		スズキ目	メバル科	メバル属の一種	<i>Sebastes</i> sp.	○		○
			カジカ科	アサヒアナハゼ	<i>Pseudoblennius cottoides</i>	○		
			ハゼ科	ドロメ	<i>Chaenogobius gulosus</i>			○
				ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>		○	○
		カレイ目	カレイ科	イシガレイ	<i>Platichthys bicoloratus</i>			○
		フグ目	カワハギ科	アミメハギ	<i>Rudarius ercodes</i>			○
			フグ科	クサフグ	<i>Takifugu alboplumbeus</i>	○	○	○
						計	33種	9種
								37種